

やまなし幼児教育センターだより

令和6年3月発行



やまなし幼児教育センター

〒400-8510

甲府市武田四丁目4-37(山梨大学内)

☎055-220-8143

保育者の学び合いの実現

気軽におしゃべり ～保育者 語り場～

やまなし幼児教育センターでは、今年度、県内の幼稚園、保育所、認定こども園等に勤務する保育者を対象に、幼児期の保育・教育に関する内容について自由に話し合い、日々の保育の振り返りや改善に生かすことを目的に「気軽におしゃべり～保育者 語り場～」を実施しました。

今年度は、以下の日程とテーマで実施しました。

- * 第1回 令和5年 6月28日(水)「子どもの姿を伝える工夫」
- * 第2回 令和5年 8月31日(木)「子どもが主体! 行事の工夫」
- * 第3回 令和5年11月30日(木)「どんな園内研修してますか?」
- * 第4回 令和6年 2月29日(木)「どうしてますか?小学校との接続」

*各回 午後3時30分～午後5時

実践事例を話し合ったり、課題と感ずることを出し合ったり、またお便りを見せ合ったり、動画を視聴したりしながら、それぞれのテーマに沿った学びを実現することができました。施設類型が違う幼児教育施設の保育者が、それぞれ課題意識を持ち集いながら、保育・教育の工夫や日々感じていることを具体的に語り合い、相互に理解を深め、学び合いました。幼児の豊かな育ちにつながる意見交流ができたと思います。



資料を持ち寄り見合ったり、ワールドカフェで意見交流したり、出された事例について語り合ったり…気軽な雰囲気ですぐに学び合いました。また、保育者の横のつながりの一助となりました。



【参加した保育者の声】

- 様々な園でどんなふうに”幼児の主体的な活動”を促しているのかを知るととても良い機会となりました。まずは、小さなことから(日頃の遊び等)始めていけたらと思います。子供たちの気付きや疑問に耳を傾けて一緒に考える、調べる気持ちを常にもち、寄り添った保育から子供主体の保育へつなげていきたいです。
- 他の園の先生方と主体性について様々な視点で話すことができ、とても勉強になりました。それぞれ園によって行事への取り組み方や子供たちの遊びの展開に違いがありましたが、ねらいをもって子供たちの興味を次の活動や遊びにつなげていく考え方の方向性としては同じであり、できることから少しずつ取り入れたいと思いました。
- 他園の先生方とゆっくり話をする機会はなかなかないので、様子や園内研修への思いなどをたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。”話す”ことの大切さを改めて実感できた時間になりました。
- 小学校との連携・接続について、どのように進めていけばいいのか迷っていました。他園の取組を聞き、まずは、小学校にアプローチし、職員の相互参観を実現したいと思いました。また、市町村との連携も非常に大切であるということがわかりました。



保育を見合ってつながろう！学び合おう！！

～公開保育、保育者向け保育参観～

施設類型を超え、保育者等が連携し共に学び合う機会を通して、保育の質の向上を図ることを目的に、公開保育や保育者向け保育参観を実施する園・所の情報を募り、その情報を県内の幼児教育施設に提供しました。

初の試みでしたが、以下の3園から情報をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

園・所名	内容
認定こども園 大野山保育園	参観者の希望により保育参観を行い、意見交流の場を設ける。
認定こども園 進徳幼稚園	作品展を公開する。
山梨大学教育学部附属幼稚園	公開保育を行い、カンファレンスを行う。

各園には、複数の園・所から申込があり、多くの保育者が交流しながら、他園の実践から学ぶ機会をもつことができました。延べ122名の保育者が交流しました。

園・所や保育者がつながりを持ち、保育・教育の課題や工夫を交流することは、相互連携による学び合いが実現でき、保育者の新たな気付きにもつながると思います。引き続き、この取組を進めてまいります。ぜひ、多くの園・所にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

